

(様式)

令和7年度 ハンドボール 部の指導方針等について

令和7年4月21日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	志村 智也	中澤 鉄也	日本スポーツ協会公認ハンドボールスタートコーチ	週2回
副顧問	大泉 章一			
副顧問				

- 2 年間目標 公式戦で勝てる所まで勝ち進む。
他校と試合をする機会を多く持ち、ともに競い合う仲間とのつながりを校内・校外でつくり、3年間の競技生活を充実させる。

3 指導方針

- (1)常に学生の本分である勉強の定着を徹底させ、文武両道の定着、挨拶、正しい言葉遣い、活動ができる感謝等を身に付けさせ、他の生徒の模範となるようにしていく。
- (2)基礎・基本的な技術の定着を徹底しつつ、生徒たちが個性を生かしたプレイをできるようにさせる。
- (3)ハンドボールの技術を向上させ、積極的なプレイをさせつつもケガや事故の発生を未然に防ぐ。

4 指導内容・方法 基本的な内容から実践向きの内容まで

- (1) 体罰・暴言がない指導
指導の意図が伝わらないことや生徒が指示に従わないことについて体罰や暴言を用いて生徒たちに理解を促すようなことはしない。
- (2) 生徒間の暴言・暴力をさせない
生徒たち同士で自分自身の意見を通すために、暴言や暴力を用いることを必ずさせない。直接言うのではなく、インターネットに悪口を書き込むことで生徒間のトラブルにつながらないように事前に指導を行う。
- (3) 外部指導員の活用
外部指導員を積極的に活用することで、顧問の負担を軽減することに努める。また、専門的な技術指導の機会を年間で複数回設けることで、生徒たちの技術の向上を図る。

- (4) 事故の防止と安全の確保
 身体の接触が多い競技であるため、事故の機会を減らすような身体の使い方を基礎・基本として生徒たちに徹底させる。
 また、天災など予測不能な事象が発生した時にも、生徒たちの安全を第一に指示を行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介・一斉部会 関東大会予選
	5	
	6	高校総体予選
	7	練習試合を入れる。(8月も)
2 学期	9	公立大会 (都立高校のみの大会)
	10	秋季大会 (新人戦)
	11	練習試合を入れる。
	12	研修大会、ゆりーと杯 (武蔵村山市の市内大会)
3 学期	1	公式大会なし
	2	練習試合を入れる。(3月も)
	3	

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。